

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

| | | | |
|----------------------------|---|--|-------------------------|
| 【研究課題名】 | 重症喘息における生物学的製剤中止後の再増悪に関する検討 | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 重症喘息に対する生物学的製剤の効果には、増悪の減少や経ロステロイドの減量、症状の改善などが認められているものの、投与継続期間は不明であり、通常は継続が必要と考えられています。そこで、中止後の転帰を調べ、中止可能な患者像を明らかにすることを目的とします。 方法は下記の対象となる患者さんの診療情報を電子カルテから個人情報が出ないように抽出し、解析を行います。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承認日～2029年9月30日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3. 対象となる方等 | 気管支喘息の患者さんで、2009年7月1日～2024年9月30日の間に附属病院（本院）にて、生物学的製剤の治療（ゾレア®、ヌーカラ®、ファセンラ®、デュピクセント®、テゼスパイア®）を受けた18歳以上の方。 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1) 試料の種類 | 試料は使用しません。 | |
| | (2) 試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3) 情報の種類 | 診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、呼吸機能検査検査）、症状、治療内容 | |
| | (4) 情報の取得の方法 | 診療録から診療時のデータを収集します。 | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1) 当施設の 研究責任者または 研究代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学 内科学講座呼吸器内科 |
| | | 氏名 | 沼田尊功 |
| | (2) 当施設の長 | 東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥 | |
| | (3) 当施設の試料・ 情報の管理責任者 | 東京慈恵会医科大学 内科学講座呼吸器内科 荒屋 潤 | |
| (4) 共同で研究を実施 する施設とその責任者 | 本研究では共同で研究を実施する機関はありません。 | | |
| 6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年2月 | | |
| 【問い合わせ先】 | 機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座呼吸器内科 研究責任者：教授 沼田 尊功（ぬまた たかのり） 番号：03-3433-1111（内線 3271） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00 | | |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。